

# MサポNEWS

2017.Dec

## Mサポからのお知らせ

### Mサポふれあい祭りのボランティア募集!!

平成30年2月24日(土)に、Mサポふれあい祭りを開催します。祭りの運営をお手伝い下さるボランティアを募集しています。ぜひ、一緒にお祭りを盛り上げ、楽しみましょう。

- 2/23(金) 13:00~17:00(予定)  
会場設営・飾りつけ・食のコーナー準備…10人程度
- 2/24(土) 9:00~16:00(予定)  
総合案内・会場案内係、ステージ進行、呼び込み、食のコーナー、スタンプラリー景品交換、記録・撮影  
その他…お持ちの技能・経験を活かした役割等…20人程度
- 申込: 申込書(ホームページからダウンロード可)をご提出ください。



### Mサポふれあい祭り スタンプラリー景品提供のお願い

Mサポふれあい祭りでは、多くの来場者に会場全体を巡って楽しんでいただけるよう、スタンプラリーを計画しており、スタンプラリーの賞品のご協賛をいただける、個人、法人の皆様を募集しております。個人名、社名等を、スタンプラリーチラシの中でご紹介させていただきます。



### Mサポふれあい祭り 第3回実行委員会開催

~参加団体の皆様へのお知らせ~

日時: 2月5日(月) 18:00~20:00  
会場: Mサポ交流スペース  
対象: 参加団体対象者(各参加コーナー1名)

## 前橋市市民活動支援センター (Mサポ)

URL <http://maebashi-shiminkatsudo.jp>

e-mail [21@maebashi-shiminkatsudo.jp](mailto:21@maebashi-shiminkatsudo.jp)

発行日: 平成29年12月13日(隔月発行)

〒371-0023 群馬県前橋市本町2-12-1 前橋プラザ元気21/3F

tel.027-210-2196 fax.027-237-0810

開館時間: 午前10時~午後10時(事務所は午後7時まで)

休館日: (12月29日~1月3日) ※ただし、臨時に休館する場合があります

JR前橋駅から徒歩10分 車の場合、市営駐車場ご利用で4時間まで無料

えびさぽ



## イベントレポート

### 秋のMサポクリーン活動

11月19日(日)午前8時より、前橋プラザ元気21周辺で秋のMサポクリーン活動を行いました。たくさんのご参加・ご協力・ご協賛ありがとうございました。活動の様子はMサポホームページをご覧ください。

<協賛・協力企業>

群馬ヤクルト販売株式会社、関東製酪株式会社、株式会社RIVER、リバー。、有限会社グローバルファクトリー、PLEASANT CAFÉ 龍、親方ホルモン (敬称略・順不同)



## 10月・11月の新規登録団体

(11月30日現在、全登録団体数: 322団体)

### パソコン研究会

主に前橋中央公民館でパソコンを学習する活動を通じて、会員の技術向上、親交を図り、融和団結の精神を養う。

### 前橋市長杯ドッジボール大会実行委員会

前橋市内におけるドッジボールの振興と普及を図る。大会の実施等により、市民の健康保持増進に寄与する。

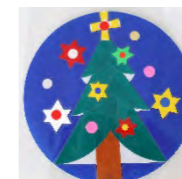
### スタッフのつぶやき 『冬を楽しむ』

冬の寒さも四季のメリハリある日本の宝。冬も楽しみ満載 (S・H)  
あんこう、鯛、そして蟹、一汁一菜を教示いただいたのに、欲とはおそるべし (T・K)  
温泉、重ね着、焼き芋、スープ、冬休み、オリンピック (M・I)  
冬の楽しみ「二度寝」あったかい布団でぬくぬくします (N・O)  
明治神宮や成田山などの初詣の熱気を味わいたい (T・Y)  
冬こそコタツでかき氷 (H・F)



## Mサポ登録団体紹介

### 子どものくらしを守る会



「子どもに夢を」でなく「子どもと夢を」を活動の最大の目的として、自分たちと一緒に「夢を見る」そしてそれを「共有」したい。また、子どもがそこに集えばそこには必ず、養育者(親)が加わり、そして時には祖父母も。そんな中で私たちには他に負けない素晴らしいツールを持っています。それは「丸の折り紙」と言う素晴らしいものを持っていることです。「遊び」が子どもにとって重要な意味合いを持っている事は事実です。「人を夢中にさせる力の中にこそ遊びの本質があります。子どもの物づくり(造形遊び)。そしてその物づくりを通じて「親子の会話」。今、失われつつある「幼児教育、情緒教育」の手助けを私たちはたくさんの所で実施してきました。

「造形遊び」は、子ども自身の遊びの欲求によって、材料や場所といった環境に対して、直接的かつ主体的に働きかける造形体験です。特に完成した作品の上手下手ではなく、自分なりの意味や価値を作り出して、「喜び」を感じることが大切です。また、養育者に対しては、子どもの自由な活動として遊びへと導くという視点をもたなくてはならないと思い、会話し活動しています。常にこの様な考え方で「丸の折り紙講習会」を実施しています。このような子どもに対しての気持ち、基本的な考え方は私たちの「子どものくらしを守る会」の会則の目的のトップに明記してあります。

ここ数年は、公民館、介護施設等の講習会も徐々に増加しつつあります。このような施設等は「リハビリテーション」目的を持ったものが多いです。

### 主な活動場所

○前橋市児童文化センター → 4年前より毎月第3土曜日に開催  
(当センターにボランティア登録しています)

○Mサポふれあい祭り → 実行委員として参加

○わくわく子どもまつり → 実行委員として参加

(私たちが有志がコラボを組んで実施)

### 《私たちの基本的な考え方》

ボランティアとは

- 義務的にならない
- 見返りを求めない
- 自分たちも楽しむ

※このような考え方の活動に、ご賛同して下さる方の一人でも多くのご連絡をお待ちしています。

代表 渡邊 博儀



高崎イオン講習会



前橋市総社町いきいきサロン講習会



高崎市内小学校粘土講習会



チュンジア、チュニスさくらスクール訪問



## Mサポイベントナビ

前橋市市民活動支援センター10周年記念事業

### 『地域が輝く市民活動』 ～Mサポがつなく前橋の協働～

前橋市市民活動支援センターは、平成17年、前橋市総合福祉会館内に公設公営のセンターとして開設されました。その後の平成19年12月に、公設民営の支援センターとしてスタートしました。この10年、前橋市において、様々な市民活動が展開され、活発な活動が地域の課題を解決しています。同時に、市民活動の課題もまだまだ多くあります。これからの市民活動が、地域を輝かせることが出来るよう記念事業を開催します。

- 日時：平成30年1月28日（日）13：30～15：30
- 場所：前橋プラザ元気21・3階 中央公民館ホール
- 定員：300名（先着順・参加無料）
- 対象：NPO・ボランティアなどの活動団体の方。市民活動を始めたい方や関心のある方
- 申込：平成30年1月15日（月）までに、Mサポ窓口・電話・FAX・メールにて①氏名（ふりがな）②団体名③電話番号を連絡（FAXの場合は、定員に達した場合のみご連絡します）
- 交流会：参加無料・参加自由です。お時間のある方はぜひご参加ください。
- 主催：前橋市・特定非営利活動法人 市民活動を支援する会
- 共催：一般社団法人 自治研修協会

### 講演 市民の力が生きる素敵な街づくり ～参加が生み出す自治の街～

講師 早瀬 昇氏 大阪ボランティア協会常務理事



#### プロフィール

1955年大阪府生まれ。阪神・淡路大震災発災時には、全国の市民団体や経団連1%クラブと連携し、日本最初の災害ボランティアセンターを担う「被災地の人々を応援する市民の会」を結成。現在、社会福祉法人 大阪ボランティア協会 常務理事・認定NPO法人 日本NPOセンター代表理事・大阪大学人間科学部客員教授・特定非営利活動法人 日本ファンディング協会副代表理事などを務める。

#### 当日スケジュール

13：30	開会（開場13：00）
13：35	講演
14：35	休憩
14：45	トークセッション 早瀬 昇（大阪ボランティア協会） 山本 龍（前橋市長） 萩原 香（NPO法人市民活動を支援する会）
15：30	閉会
15：45	交流会

## イベントレポート

### Mサポセミナー NPOの基礎知識

10月26日（木）に「NPOの基礎知識」を開催しました。NPOの基礎的な知識について、本センターを運営する「NPO法人市民活動を支援する会」の萩原香理事長の説明後、「NPO法人群馬の医療と言語・文化を考える会」の原美雪副代表理事、「一般社団法人中央ライフサポートセンター」の遠藤昌男代表理事から、団体の設立経緯、活動状況が紹介されました。各団体の発表では、法人設立までのご苦労や、現在の活動の中での課題やポイント等まで、生のお話を聞くことが出来、参加者からも「団体の活動の熱意を感じた」「今後も、今活躍している方々の声を聞きたい」等の感想をいただきました。



### Mサポセミナー NPOのための遺贈寄付

11月15日（水）に「NPOのための遺贈寄付」を開催しました。遺贈寄付とは、人がなくなってから行う寄付で、遺言による寄付、相続財産の寄付、信託による寄付の3つの種類があります。当日参加者も多く、会場は満席となりました。「群馬ファンドレイジング研究会」メンバーの、弁護士 矢内良典氏、プルデンシャル生命保険(株)高崎支社 金田優弥氏を講師に迎え、身近で具体例な内容で、参加者からも次々と質問があり、たいへん充実したセミナーでした。参加者からは、「遺贈に対する理解が進んだ」「信託という言葉の意味が理解できた」「税理士や会計士からのお話も聞きたい」などの声がありました。



### 分野別交流会

11月4日（土）に開催した「分野別交流会」は、「子供の健全育成」をテーマに、子供を取り巻く社会課題に取り組む関係団体、22団体40名の参加がありました。事例発表では、「認定NPO法人ひこばえ」の高橋氏から、母子家庭のお子さん対象の無料学習会では、様々な工夫をし、親子の心のケアが大切との話がありました。続いて、「NPO法人ぐんまを元気にする会」の新井氏は、ぐんまわくわくワーク（子どもや学生が、気軽に大人の仕事を体験できる仕組みづくり）の話をして、新井氏は、大人自身が健全であり、未来の可能性を持たせ、大人が子供を信じる絶対信頼が必要とお話されました。その後のグループトークでは、最近の活動や今後の方向性など、活発な意見交換が行われました。今回の交流会をきっかけに、団体の活動が次につながり、益々発展されることを願っています。



### つながる“3分”プロジェクト

11月26日（日）中央公民館で、「つながる“3分”プロジェクト」を開催しました。各分野で活動中の団体、企業が、「前橋のためにやりたいこと」を3分間でプレゼンし、地域、NPO、企業の垣根を超え、つながるきっかけをつくるイベントです。第1部の「プレゼンタイム」では、今年は子育て関連の団体が多く、お子さんを連れての発表者が3団体あり、和やかな雰囲気の中で、25団体によるプレゼンテーションが行われました。プレゼン終了後、第2部の「いいね！タイム」では、共感や応援の気持ちを発表団体のパネルに付箋を貼り、観覧者、参加者を変えた交流会を行い、たくさんの方がつながりが生まれました。当日の様子は、Mサポホームページやfacebook、YouTubeをご覧ください。



## Mサポ元気お届けたいレポート

### ～フラダンスでみんなを元気に～ 『プーピー』

Mサポ登録団体「プーピー」は、フラダンスを通じボランティア活動を行う団体で、福祉施設や地域のふれあい・いきいきサロン等でボランティア公演を行っています。

11月27日（月）、「プーピー」のメンバー4人が、城東町の施設「ワークハウズドリーム」を訪問し、フラダンスを披露しました。

この施設では、約50人の障がいをお持ちの方が入所や通所により、様々な就労訓練を受けており、中心となる事業は、専門家や調理員等の指導を受け、パンを製造し、店舗（直営店がある）での提供、和紙等を使った小物の制作や販売、調理や高齢者向け配食サービス（1日50～70食）の補助などです。また、施設では、障がい児（者）家族の相談や一時預かり事業なども行っています。

当日は、25人の参加者が会場に集まり、プーピーのみなさんが、「ブルーハワイ」や「カイマナヒラ」といったハワイアンの名曲を踊るだけでなく、見ている方たちを誘って踊りを指導し、集まった方のほとんどが、前に出て楽しそうに一緒に踊り、その笑顔が非常に印象的でした。

文字通り「元気お届けたい」を地で行っているようで、参加者とプーピーのみなさん双方が元気いっぱいでした。

※Mサポ元気お届けたい…特技を活かして地域の「ふれあい・いきいきサロン」や施設等で活動を行う、Mサポ登録団体及び個人ボランティア（登録制）です。



特技を活かして地域や施設で活動する「元気お届けたい」をMサポスタッフがレポートします！



## 協働NEWS

### 【回想法で地域の自助・互助を高めます】

今年度のまえばし市民提案型パートナーシップ事業の採択事業である「地域の自助・互助を高めるため、継続して地域で回想法を実践できる仕組みづくり事業」。

回想法を通して、昔の記憶をよみがえらせ、脳の活性化を促すことで認知症予防、仲間づくりや生きがいづくりを生み出し、それを通じて自助・互助を高めてまちづくりに広めることを目的としています。

事業では8月から回想法スクールを行い、18名の参加をいただき、和やかな交流の場が創出されました。平成30年2月からは回想法指導者養成講座が始まり、来年度にはその修了生がファシリテーターとなり、気軽集える場を増やしていく予定です。

